



～ 年頭に当たって ～

明けましておめでとうございます。

青少年育成指導員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様には青少年の健全育成につきまして、多大なご理解とご協力をいただき、深く感謝いたします。

新年の干支は「庚子かのえね」で、「庚」は継続すべきこと、刷新すべきことを見直す時期であり、「子」は万物が成長し増えていく時期とされています。

子の年は、さまざまなことが新しく始まる局面であり、

- 個人は、自分の軸となる価値観を持って進む
 - 組織は、新たな局面に対応できる人物の育成・活用に取り組む
- のに、良い年とされています。

これにあやかり、我々職員も自己研さんに努め、各関係機関の皆様との連携を強固なものとし、青少年にとって安全安心な社会環境を作っていきたいと考えています。本年も何卒よろしく願いいたします。

浅口市青少年育成センター 所長 小竹 正巳



令和元年度 善行少年表彰

玉島警察署管内青少年健全育成推進協議会・玉島警察署

11月に表彰式があり、浅口市内校からは3名の個人と3団体が受賞しました。いずれも個人や集団の継続的な取組が、他者や集団、地域への貢献に広がった優れた実践です。

ここでは3団体の活動から主なものを紹介します。

- ★おかやま山陽高等学校 硬式野球部…駅構内周辺の清掃、地域でのあいさつ活動、発展途上国の子どもたちへの支援活動
- ★鴨方中学校 バレーボール部…団結！練習！学校での清掃・美化活動、警察やボランティアとの、犯罪抑止や被害防止のための協働活動
- ★金光吉備小学校 児童会…清掃の見直しや全校への意欲喚起と成果、あいさつ運動

主テーマ「ストップ！ ネット犯罪！」

去る11月に、青少年健全育成街頭キャンペーンを実施しました。多くの方のご参加、ご協力をいただき感謝申し上げます！

☆☆☆☆☆

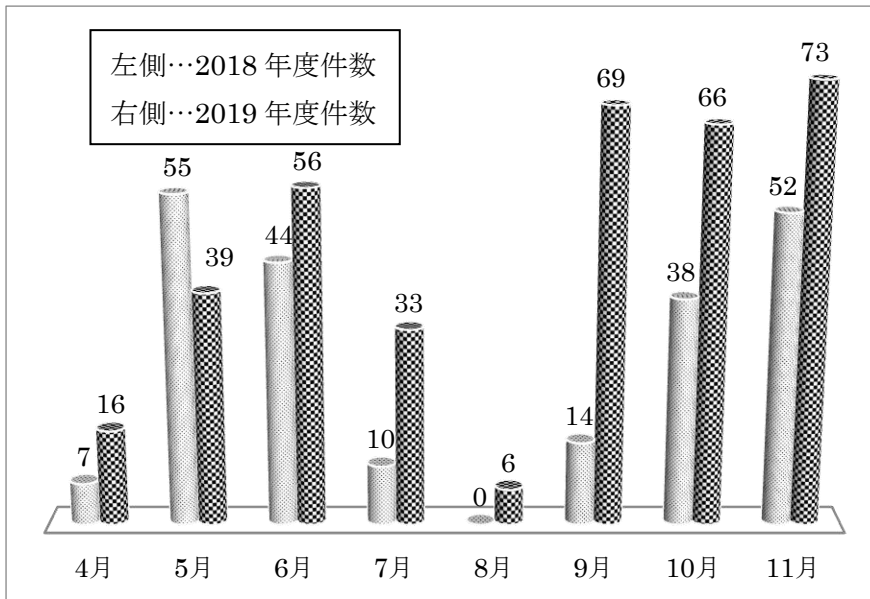
12月には年末特別補導として、指導員の方々は倉敷方面まで出向いて取り組んでくださいました。広域での活動をありがとうございました！



浅口市青少年育成センター実施

パトロールによる「指導・注意」件数【月別状況】

(「声掛け」対応範囲の件数は除く)



◆ 4月から11月末までの累計数が昨年度より大幅に増加。

2018年度⇒220件

2019年度⇒358件

◆ 本年度、夏休み明けに急増して以降、同様の状況が続く。改善を急ぎたい。

◆ 「指導」対象行為区分で、最も多いのは「交通」関係。次いで「不良交友、不健全交際」。

「喫煙」は昨年度比5分の1に減少した。

SNSによる被害、加害の防止を!



平成30年度にSNS関連で犯罪被害にあった子どもは全国で1811人。岡山県では135人が「少年の福祉を害する犯罪(性的被害が多い)」の被害にあっています。

SNSをめぐっては、青少年の悩みや不安、混乱、孤独感につけこむ事件も続いています。いじめや他者攻撃のツールになったり、人間関係の破綻を招いたりとの事態も起きています。

スマホやパソコンのほか、ゲームや音楽の機器でインターネットに接続できるものも多い現在です。子どもとの意見交換から話し合いを深め、家庭全体で危険回避力を強めてほしいと願います。

所持するか否かの意思決定、フィルタリングでの利用制限、機器の使い手の意識と判断力育成、機器を与える側の意識・知識や考え、ルールづくり、困った時に相談する力、相談機関を知ること…等々、求められる要素は多々あります。生徒の自発性を重視して展開している「OKAYAMAスマホサミット」の取組や趣旨にも学びたいですね。

ネット依存、ゲーム障害の問題も深刻!



浅口こよか



何らかの疎外感や人間関係問題を発端にのめりこむケースや、人的つながりはネット内のみという例も増加。

特にオンラインゲームは依存性が強いそうです。WHOは「ゲーム障害」を依存症として病気に認定しました。

時間のコントロールの問題だけでなく、ふだん顔を合わせる人との関係、自分の目標が持っているか等も背景に。

昼夜逆転や生活破綻が懸念される状態は、医療機関への相談・受診も必要です。深刻な場合は、県内であれば「岡山県精神科医療センター」等への相談・受診をお考えください。

